

- 「アルルの女」 **5 回目** が 5 月 1 9 日 (金) 流れる♪ 記録を更新しよう。
- 5 月 2 5 日 (木) 7 限 「生徒会新役員認証式」 新執行部メンバー紹介 敬称略

● 5 月 2 5 日 (木) 「第 7 0 回 広島県総合体育大会」 壮行式

【県総体に出場する部】 1 3 団体 舟入生の躍進に期待！

- ① 陸上競技部 ② 水泳部 ③ 体操部 ④ 女子バスケットボール部 ⑤ 男子バレーボール部
- ⑥ 男子ソフトテニス部 ⑦ 女子ソフトテニス部 ⑧ 男子テニス部 ⑨ 女子テニス部
- ⑩ 卓球部 ⑪ サッカー部 ⑫ バドミントン部 ⑬ 剣道部

● 5 月 2 5 日 (木) 「第 5 8 回 外国人による日本語弁論大会」 出場 壮行式

2 年 4 組に在籍の陳さんが、6 月 1 7 日 (土) 、つくば市で開催される日本語弁論大会 (決勝大会) に出場することが決まりました。全国から 1 0 0 名を越す応募者の中から本選出場者 1 2 名の一人に選ばれました。制限時間は 6 分以内、審査は、主題、事例、構成、語句の使い方、話し方を中心に行われます。

● **垣根を越える学問領域** コラボする研究開発の一例

生物に学ぶイノベーション ～開発進む 生物模倣技～

5 月 1 5 日付ニュース (読売新聞ニュースより)



「東大の斉藤一哉助教 (宇宙工学) らの研究グループが、『ナナホシテントウ』の表面の硬い羽の代わりに、内部が見える透明な樹脂を移植。飛行時に使う薄い羽を収納する様子を詳しく観察し、テントウムシが、長く薄い羽をコンパクトに収納する仕組みを解明したと発表した。羽の強度を保ちながらたたむ折り方は、人工衛星の太陽電池パネルや飛行ロボットの羽のたたみ方の開発に役立つ可能性があるという。論文は 5 月 1 6 日、米科学アカデミー紀要電子版に掲載された。」

◆ 近年、「生物模倣技術」が脚光を浴びている。

【背景には…】

① 地下資源 (石油・天然ガスなど) 依存型の物づくりに限界

→ 生物世界に注目が集まる。

生物はそもそも自然と共生し進化を遂げてきた。生物の持つ省資源的な構造やデザインから学ぶべきものがまだまだたくさんある。

②研究や開発を支える「技術の進化」（電子顕微鏡、スーパーコンピューターなど）

→生物の微細な動きを**観察**、生物の物理的動きを**解析**、そして**再現**

（参考文献：NHKクローズアップ現代）

★生物学、工学、医学、創薬、情報科学、歴史学、博物学も参画した、文理の垣根を越えた研究開発が進行している。**高度な専門性と、文理を横断する柔軟な発想の両方**が今最も求められている。大学での研究、大学の先にある世界の一端を知る手がかりにしてほしい。

●「5月18日 3年生東大・京大志望者集会」での話より

・各教科からのアドバイスの中で、次のようなことばが紹介されていました。

…ひとつ興味深い事実を指摘しておきたい。受験後の開示得点が受験生本人の想定より10%以上低い場合がある。そういう受験生の答案のかなりが、「非常に読みにくい字の答案」「**読む側に苦痛を与える答案**」である。…

・答案作成は、採点者との謂わば「キャッチボール」です。相手に読んでもらえなければ、相手に「苦痛を与える」ようでは成立しません。日ごろ、字が読みにくいと指摘されている人は、今から「読んでもらえる」「**苦痛を与えない**」記述の努力をしましょう。

●『生きるのが楽しくなる脳にきく言葉』中野信子（脳科学者）著より

①人間は、自分が見ている方向にしか進めない～脳をだます～

②「五感」を総動員させて記憶することで、忘れっぽい自分を変えることができる ～脳を使いこなす～